

国語科学習指導案

「りっちゃんげきだん」をつくろう

『サラダでげんき』かどの えいこ 文

尾道市立土生小学校

日時：平成25年10月21日(月) 第5校時

学年：第1学年1組 14名

1 単元について

○単元観

本単元は、学習指導要領低学年「〇読むこと」の目標(3)「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」を受けて設定し、指導事項(ウ)「場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」を中心に指導して、登場人物の順序やしたことを読み取り、その様子や気持ちを想像豊かに読む力を育てることをねらいとしている。

本教材は、サラダが出来上がる過程に沿って、登場人物が行動を起こしていく構成となっている。その表現の仕方には共通点が多く、順序や様子の違いがとらえやすい。児童と同年代である中心人物の「りっちゃん」が、病気のおかあさんのために何かできないかと考え、おいしくて元気になるサラダを作っていく。おかあさんを心配して、動物たちのアドバイスを素直に聞きながらよりよいものを作ろうとする「りっちゃん」の気持ちに同化させながら読ませていきたい。また、動物のアドバイスには個性が表れている。なぜそのようなアドバイスをしたのか、なぜアフリカぞうは最後の仕上げを「ぼくのしごと」と言ってやったのかなど、それぞれの動物について知っていることを基に想像して考えさせ、次第に「りっちゃん」の作りたかった「おいしいサラダ」「げんきになるサラダ」となっていく様子を読み深めさせることができる。

○児童観

児童は2学期までに、「あめですよ」、「かいがら」、「おおきなかぶ」の文学的な文章の学習を行ってきた。「あめですよ」は学習の入門として、挿絵と叙述をつなげて登場人物の気持ちを想像させ、それを声の調子や体の動きで表現する学習を行った。「かいがら」では、中心人物「くまの子」の行動や気持ちを中心に想像させ、登場人物の気持ちに同化しながらお話を読むことの楽しさを味わう学習を行った。「おおきなかぶ」では、繰り返しのおもしろさに気付かせ、登場人物の様子や繰り返しの度に高まる「おじいさん」の気持ちを想像し、音読に表す学習を行った。

「かいがら」で、中心人物の気持ちを想像して書くことのできた児童は、71%であった。残りの児童は、教科書に書かれていないことを想像することが難しく、叙述にある気持ちをそのまま書いたり、その後の展開のことを答えたりしていた。中心人物の気持ちを想像することができた児童の中にも、「うれしかった」などのような一言で終わってしまい、「何が」という部分までは書けない児童もいる。登場人物になりきって物語を読み、気持ちを豊かに想像する点に課題がある。また、分かっているにもかかわらず、文で書くことが難しい児童もいる。思いを表現できるよう手立てが必要である。

○指導観

単元の中心となる言語活動としては、「『りっちゃんげきだん』をつくろう」と設定した。学習発表会で劇をすることを最終ゴールとする。そのために、お話の順序をとらえ、登場人物の様子・気持ちを想像しながら読み深めていくという目的意識を持たせて学習を進める。同化しながら登場人物の気持ちを想像し、さらに学習発表会での劇につなげていくために、会話文や地の文章を基に、場面ごとの動作化を行い、その時動物がりっちゃんに言った言葉を想像して吹き出しに書く活動を

取り入れる。その後、グループの中で自分の考えを伝え、また相手の考えを聞くことによって共感させ、読みを深めさせていく。全体交流では、インタビューによりさらに深い考えを引き出し、全体の読みをより深いものにしていく。そして、出てきた言葉の中から最も適切なものを全体で精選し、模造紙に書かれた吹き出しにまとめる。このようにして、自分達の読みが台本作りにつながっていることを実感させるとともに、劇で登場人物になりきったり、場面の様子に合った語りをしたりすることにつなげるようにしたい。なお、各時間の冒頭には、フラッシュカードを使って登場人物の順序や勧めたものなどのクイズを行い、既習事項の確認を行う。

2 単元の目標

- 話の展開のおもしろさを味わいながら、楽しんで読もうとする。
- 劇をするという目的に向かって、特に登場人物の気持ちや行動について、叙述と自分の経験とを結びつけるなどしながら豊かに想像して読むことができる。
- 文の中における主語と述語との関係に注意することができる。

3 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
話の展開のおもしろさを味わいながら、楽しんで読もうとしている。	人物の登場する順序や行動に着目し、叙述に即して場面の様子や人物の気持ちを想像しながら読んでいる。(C(ウ))	文の中における主語と述語との関係に注意して、お話を読んだり自分の考えを表現したりしている。(伝イ(カ))

4 単元を貫く言語活動

「りっちゃんげきだん」をつくろう

学習したことを基に、登場人物になりきって台詞を考え、演じたり、様子が伝わるように語りをしたりする。

5 単元のゴール

【評価問題】

おはなしのどうぶつたちとおなじように、サラダにいれたらよいものをりっちゃんにおしえてあげましょう。

※解答例①(りっちゃんの思いを受け、「げんきになるサラダ」を作るためのものを考えている。) バナナをいれるといいよ。さるみたいにげんきにとびまわれるよ。

※解答例②(りっちゃんの思いを受け、「おいしくてげんきになるサラダ」にするためのものを考えている。)

ピーナッツをいれるといいよ。おいしくなるし、ちからがつくよ。

6 指導計画(全15時間)

次	学習内容(時数)	評 価			
		関	読	言	評価規準 評価方法
一	・読み聞かせを聞き、お話に関心を持つとともに、劇を作るために楽	○			・学習の目的を理解し、楽しみながら物語を読もうとしている。 発言観察

(3)	しみながら読もうとする意欲を持つ。(1)					
	・「土生小10の観点」のうち、③登場人物、④中心人物、⑦お話の順序の3観点を使ってお話の大体をとらえる。(1)		○		・観点でお話を読み、中心人物と誰が何をどのような順序で勧めたのかをとらえている。	ワークシート 発言
	・「土生小10の観点」のうち、⑤主な出来事、⑨最も心に残ったことの2観点を使ってお話の大体をとらえる。(1)		○		・観点でお話を読み、りっちゃんがお母さんのためにサラダを作って、それを食べたお母さんが元気になった話であることをとらえ、最も心に残ったことを伝え合っている。	ワークシート 発言
二 (6)	・りっちゃんがサラダを作り始めたわけを想像し、言ったことを考える。(1)		◎	○	・病気のおかあさんを心配するりっちゃんの気持ちを想像し、それを基に言ったことを考え吹き出しに書いている。	吹き出し 発言
	・のらねこやとなりの犬が教えたことと様子や気持ちを想像し、言ったことを考える。(1)		◎	○	・のらねこ、となりの犬がしたことや様子、気持ちを想像し、それを基に、りっちゃんに言ったことを考え吹き出しに書いている。	吹き出し 発言 動作化
	・すすめやありが教えたことと様子や気持ちを想像し、言ったことを考える。(1)		◎	○	・すすめ、ありがしたことや様子、気持ちを想像し、それを基に、りっちゃんに言ったことを考え吹き出しに書いている。	吹き出し 発言 動作化
	・うまや白くまが教えたことと様子や気持ちを想像し、言ったことを考える。(1)		◎	○	・うま、白くまがしたことや様子、気持ちを想像し、それを基に、りっちゃんに言ったことを考え吹き出しに書いている。	吹き出し 発言 動作化
	・アフリカぞうがしたことと様子や気持ちを想像し、言ったことを考える。 ☆本時(1)		◎	○	・これまでの動物との違いに気付 き、アフリカぞうがしたことや 様子、言ったことを想像し、そ れを基に、りっちゃんに言った ことを考え吹き出しに書いて いる。	吹き出し 発言 動作化
	・できあがったサラダを食べるりっちゃんとおかあさんの様子や気持ちを想像し、言ったことを考える。(1)		◎	○	・サラダに込めてきたりっちゃんの気持ちをふり返り、サラダを食べるりっちゃんとおかあさんの様子や気持ちを想像し、それを基に二人が言ったことを考え吹き出しに書いている。	吹き出し 発言 動作化
三 (6)	・これまでの学習をふり返りながら劇の練習をする。(5)		○		・これまでに読み取ったことを劇で表現したり、友達の表現に対してアドバイスしたりしている。	発言 劇
	・登場人物の気持ちや様子が伝わるように劇の発表をする。(1)		○		・これまでの学習を基に、劇を発表している。	劇

7 本時の学習

(1) 本時の目標

これまでの動物との違いに気付き、アフリカぞうがしたことや様子、気持ちを想像することができる。

(2) 評価規準

本時で目指す子どもの姿（本時のゴール）

これまでの動物との違いに気付き、アフリカぞうがしたことや様子、言ったことを想像し、それを基に、りっちゃんに言ったことを考え吹き出しに書いている。

子どもがわかりやすく伝え合い表現し、「読み」を深めるための工夫

- ・アフリカぞうの気持ちを叙述中の表現に注目しながら想像させた上で、サラダをまぜた後にりっちゃんに言ったことを考えさせ、吹き出しに書かせる。
- ・アフリカぞうになりきって、気持ちが表れるように動作化をさせ、インタビューをして吹き出しに書いたことよりも深い読みに迫る。

(3) 本時の学習展開

◆「努力を要すると判断される」状況の児童への手立て

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 〔評価方法〕
1 前時の学習を想起する。		
○ 前時の学習を想起する。 <ul style="list-style-type: none"> ・うまがやってきて、かけっこで1とうしょうになれるほどげんきになるにんじんをすすめてくれた。 ・しろくまは、かぜをひかずいつもげんきでいられるというこんぶをすすめてくれた。 ・しろくまは、とおいほっきょくかいにすんでいて、はやくしらせるためにでんほうでおしえてくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュカードや、これまでに作ってきたサラダや電報の掲示物などを使いながら復習させる。 	
2 学習課題を確認し、次の学習場面を読む。		
学習課題：アフリカぞうは、りっちゃんにどんなことをいったのかな。		
○ 本時の課題を考えながら音読させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカぞうのしてくれたことや様子を表す言葉に着目して音読させる。 	
3 アフリカぞうがしてくれたことと言ったことを想像する。		
○ アフリカぞうは、どんな様子で来ましたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ものすごくいそいでいる。 <ul style="list-style-type: none"> ←「とつぜん」「キュー」「せかせか」「まにあってよかったよかった」 ・とてもとおいにすんでいるのに、しろくまとはちがってじぶんがやってきた。 ○ アフリカぞうは、何をしてくれたのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・あぶらとしおとすをかけた。 ・スプーンをはなでにぎって、ちからづよくくりんくりんとまぜた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様子を表す言葉に着目したり、アフリカぞうと、これまでの動物たちの行動や様子を比較したりして考えさせる。 ◆ 友達の意見を聞いて参考にさせる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの動物と違い、ただ勧めるだけでなく自分がしていることにも着目させる。 ・これまでの動物との違いに気 	

<ul style="list-style-type: none"> • あじつけや、しっかりとませることは、アフリカぞうのしごと。 • ちからいっぱいませて、サラダにげんきをいれてくれた。 	<p>付きにくい場合は、補助発問として「アフリカぞうは、なぜとても急いで来たのでしょうか。」と問い、「できあがった」と言っているりっちゃんに対して「いやいや、これからがぼくのしごと。」と言っていることに着目させる。</p>	
<p>◎アフリカぞうは、サラダをませたあと、りっちゃんにどんなことを言ったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> • さあ、これでかんせいだよ。 • 「おいしくてげんきになるサラダ」になったよ。 • ちからをこめて、しっかりませたよ！ 	<ul style="list-style-type: none"> • 「ぼくのしごと」をした後にりっちゃんに言った言葉を想像して吹き出しに書かせ、グループ内で交流させる。 ◆板書や挿絵を基に、アフリカぞうの様子や気持ちを想像させる。 • 全体交流の場で、動作化させ、インタビューをしてさらに深い読みへ迫る。 • 全体で最も適切な言葉を選び、台本作りにつなげる。 	<p>評価 これまでの動物との違いに気づき、アフリカぞうがしたことや様子、言ったことを想像し、それを基に、りっちゃんに言ったことを考え吹き出しに書いている。〔吹き出し・発言・動作化〕</p>

4 本時の学習のふり返しをする。

<p>○本時の学習についてふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ○○くんのいけんで、アフリカぞうは「おいしいサラダ」にするためにきたことがわかりました。 • △△さんを見て、アフリカぞうがちからづよくまぜていたようすがよくわかりました。 	<ul style="list-style-type: none"> • 友達との伝え合いを通して気付いたことや学んだことをふり返るよう指示する。 	
--	--	--

(4) 板書計画

アフリカぞうの絵

あじつけ

あーらーらー

VSVSVS

あじつけ

あーらーらー

あじつけ

あーらーらー

あじつけ

あーらーらー

【きたとき】

とつせん

キューン、ゴーゴー、キュー

ひこうき

せかせか

「まにあってよかったよかった。」

【しつべたこと】

あじつけ

あーらーらー

10/21 (げつ) サラダでげんき かどのえいこ

サラダ
模型

④ アフリカぞうは、りっちゃんにどんなことをいったのかな。

【またとき】

とつせん

キューン、ゴーゴー、キュー

ひこうき

せかせか

「まにあってよかったよかった。」

【しつべたこと】

あじつけ

あーらーらー

「おいしくてげんきになるサラダ」になったよ。

アフリカぞう

(模造紙)

「おいしくてげんきになるサラダ」になったよ。

アフリカぞう

(模造紙)